

# 「マンゴーと赤い車椅子」上映の結果について

## 全国70ヶ所以上で上映



上原 正一 議員

制作予算1億2000万円、本町から平成25年度70万円、平成26年度1480万円の予算組みをした「マンゴーと赤い車椅子」の上映結果はどうだったのか。

### 動員数は約10万人

町長

平成25年12月に大崎町を中心に大隅半島で撮影が行われ平成27年2月に1ヶ月間全国70ヶ所以上で上映され延べ動員数は10万人、二つの映画祭にも出展され大崎町をはじめ大隅半島をPRできたと思っっている。



©2014「マンゴーと赤い車椅子」製作委員会

### ふるさと納税とも関係しているのか

上原議員

ふるさと納税が県内で一番多いとマスコミが発表している。そんな中県内のマンゴーの生産量の約半分が本町で生産されている。今回の「マンゴーと赤い車椅子」の上映がふるさと納税とも関係していると思うか。

### 主演の方々も自身のホームページで宣伝

町長

撮影現場でも実際の圃場を使っており主演の方々も自身のホームページやブログを使いながら宣伝していただいております。マンゴーのことも映画のことも広く周知できたものと思っっている。

### 今後の予定は

上原議員

ふるさと納税の金額を考えると色々な面で映画の効果もあったと思う。このような納税収入を一過性のもので終わらせない為に今後何か予定はないのか。

### 現時点ではない

町長

本町を主に大隅半島でロケをやっていたので、人気俳優の方々にも本町に入ってもらい知名度は上がったと思う。海外からも要望があり、関心の高さがうかがえるが、現時点での次の映画という計画はない。

### 住民の意見集約について

上原議員

住民の意見を町政に反映して行くのが行政である。今住民から防犯灯設置を望む声を多く聞く、語る会を行い住民の声を聞き意見集約する事はできないか。

### 組織団体との出前講座を考えている

町長

防犯灯設置事業から二十年過ぎ町の管理灯は597灯を年3回点検している。集落内は基本的には集落で設置管理してもらっている。住民の意見交換会は組織する団体からの要望に出前講座で考えている。

### 合併浄化槽補助金について

上原議員

他市町では合併浄化槽補助金の額が、自治体内の業者と自治体外の業者とは違うところもある。本町も同等の取扱はできないのか。

### 上乗せはできない

副町長

合併浄化槽補助金は、国が三分の一、県が三分の一、自治体が三分の一で決まっているのでカットはできない。財政を考えると町内業者への上乗せはできない。

### 農業委員会法改正への取り組みは

上原議員

農業委員会法の改正が平成28年4月1日から施

行される。選挙もなくなり大きく中身が変わるが本町の改正への取り組みはどうなっているか。

### これから検討していく

町長

現在の農業委員は平成29年7月19日まで任期がある。町民への広報、選出方法の手続きの周知等はこれから検討していく。

### 町長の権限が強くなるのでは

上原議員

農業委員は町長が任命すると聞くと町長の権限が強くなるのではないか。

### 推薦、公募等で議会が承認

町長

選出方法は農業者団体その他関係者に対し委員候補者の推薦を求め、公募する。委員の過半数は認定農業者でなければならぬと規定され、特に私が権限を持つてやる事はない。その委員を議会が承認して町長が任命する。